



# 月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 043(222)7207番

94. 1. / No. 392/

明けましておめでとうございます。  
分割・民営化の強行から七年が経ち、  
動力千葉は、今年、組合結成十五周年  
を迎えます。

## 全国に はばたこう!

われわれは、昨年の大会で、新たな  
飛躍の決意を込めて、「全国にはばた  
こう」という方針を決定しました。こ  
の十五年間の闘いのなかで、最も  
重要な教訓は、たとえ情勢がどんなに  
厳しくとも、労働者は、闘いの道を貫  
く以外に胸をはって生きることはでき  
ないということです。今度は、全国へ  
の挑戦がはじまります。全国の仲間た  
ちとスクラムを組み、怒りを結集し、  
現在の情勢に対抗し得る労働運動を何  
としても創りあげよう。

## 歴史の岐路に たっている

予測もつかない速度で、時代の精神  
が大きく変化しようとしています。小  
選挙区制の導入を水路として、政治、  
経済、社会全般にわたる反動的な大転  
換が進もうとしています。膨大な首切  
りの嵐が吹き荒れ、「大量失業時代」  
が到来しようとしています。抗いがた  
い力につき動かされたかのように、社  
会党をはじめ、一切の反対勢力が権力  
の側に取り込まれ、解体されようとし  
ています。

連合は、ついに一線を踏みこえ、敵  
の側に走りました。歴史の教訓が示す  
のは、労働運動がおし潰された時代は、  
必ず戦争への道をたどっているとい  
うことです。われわれは、歴史の岐路に  
たっていることを片時も忘れることはで  
きません。



## 国鉄闘争が 日本の労働運動の 未来を決する

われわれは、国鉄闘争が、日本の労  
働運動の未来を決する重要な位  
置におし上げられていることを今一度  
自覚しなければなりません。国鉄闘争  
が、攻防の焦点に位置しているのです。

国鉄分割・民営化攻撃に対し、動力  
千葉が、二波のストライキに決然とし  
て決起したことによって、国鉄労働運  
動の解体をくい止め、現在も決着がつか  
ないまま、闘いが継続されているこ  
とが、今、決定的な意味をもとうとし  
ています。

今後、深刻な不況下で、今後、より  
本格的に始まるであろう、膨大な首切  
り攻撃にさらされる労働者の怒りが、  
いずれ沸騰点に達することは避けられ  
ません。十年に及ぶ戦後政治の総決算  
攻撃との闘いを不屈に貫いた国鉄労働  
者が、全ての労働者の先頭にたち、こ  
こに怒りと力を結集すれば、連合打倒  
に向けた大きなうねりをつくり出すこ  
とも不可能ではありません。

## 中労委の反動 命令を許すな!

昨年十二月二四日、中労委は、断じ  
て許すことのできない反動命令を行  
いました。支配階級の側も、今国鉄労働  
運動を潰しておかないと大変なことに  
なる、と敏感に感じとっているのです。  
「十二・二四命令」は、この意志を体  
現したものに他なりません。清算事業  
団闘争も、いよいよ勝負のときが来た  
ということです。

JR本場で開始された新たな十万人  
首切り攻撃粉砕の闘いと解雇撤回闘争  
を結合し、直ちに闘いの配置につかな  
ければなりません。

ついに、東日本でも「JR体制」が  
揺らぎ始めました。仙台でのJR総連  
分裂がひとつの契機となつて、「JR  
体制」の矛盾がいたるところで火を吹  
き始めることは明らかです。九四年こ  
そ、「分割・民営化体制」に風穴をあ  
ける大前進のときとしなければなりま  
せん。確かにわれわれも苦しいが、敵  
の側はもっと苦しいのです。

## 戦闘的労働運動を 創りあげよう!

われわれが準備してきた闘いは、組  
合結成から十五年、分割・民営化から  
七年を経て、いよいよその真価を發揮  
し、ほとばしる炎となつて燃え上がる  
日をまっています。九四年は、飛躍の  
年、挑戦の年です。闘いのなかで学び  
とってきた勝利への道すじを指針とし  
て全国にはばたこう！連合路線をう  
ち破り、闘いの旗を全国にひるがえそ  
う！国鉄闘争の勝利を水路に、新た  
な翼賛政治体制と「大量失業時代」を  
はね返す戦闘的労働運動を創りあげよ  
う！

94 国鉄闘争の闘いについて  
日時 1月13日(木)  
13時より  
場所 千葉県労働者  
福祉センター  
3階